

“歯科におけるCOVID-19の影響” 継続サーベイランス へのご協力のお願い

対象：歯科医院・病院・歯科技工所などにおいて歯科臨床業務にあたる方々
(歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、歯科助手、受付、その他)

新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）への対応は長期化することも予想されています。今後に向けて、節目ごとに継続的な情報を記録していき、集計・分析をもとに、今後の方針決定や政策提言への資料としていく必要があると考えています。

このため、歯科医院・病院・歯科技工所などにおいて歯科臨床業務にあたるそれぞれの個人から、対応の工夫や困りごとなどの情報を、継続的にいただくようなサーベイランスを実施することといたしました。

個人を対象としていますので、入力は、概要としての割合など、印象のみで選択できるように配慮してあります。

必要時、日付を追加する可能性がありますが、ぜひ、ご回答いただきたく、お願いいたします。

- 回答は自由意思であり、無記名での、インターネット上での回答となります
- Googleアカウントを利用しますが、一切通知されませんので、特定不能です
- Gmailなどの、Googleアカウントの無い方は、Googleアカウントを取得してからの回答となります
- それぞれの回答者ごとの個別の回答は開示せず、集計・分析した結果のみ、学会や団体を通じての提言などに活用させていただきます
- 特定の団体や会社との利益相反はありません

お忙しいところ申し訳ございませんが、
ご協力よろしくお願いいたします

日本災害時公衆衛生歯科研究会（災害歯研，DPHD）
世話人 中久木康一 jsdphd-admin@umin.org

協力：（公社）日本歯科医師会

回答は、設定された日付ごとに、主に選択肢で答えられるようになっていきます
ひとつの日付に対して回答に要する時間は、2-3分と思います

4(3)主な勤務先における、PPE以外の感染防護策として実施しているものを、選んでください

- 治療後に診療で触れた全ての物品表面の清拭・消毒を徹底している
- 積極的に窓を開けたりなどの換気をするようにしている
- 空気清浄機などで診療室の空気をろ過している
- 口腔外パキュームなどを積極的に使ってエアロゾルを吸引するようにしている
- 患者の来院前に電話などで症状の問診や検温などのスクリーニングをしている
- 患者の来院時に症状の問診や検温などのスクリーニングをしている
- 診療所・診療室に入るときに患者に手指消毒を求めている
- 診察・治療の前に、患者に前処置としての洗口を求めている
- 院内で2mの距離をとれるように工夫している
- アクリル板やビニルシートなどを用いて、可及的な空間分離をしている
- 診療室に複数の患者が同時にいないように、診療室には患者は1名のみとなるように予約を調整している
- 受付・待合に複数の患者（付き添い含む）が同時にいないように、院外（車中）で待たせるなどの工夫をしている
- Other: _____

4(4)主な勤務先における感染防護策について、ご自身ではどのように感じていますか？

- 十分対応できている
- どちらかというと、対応できている
- どちらかというと、対応できていない
- 十分対応できていない

回答は、下記QRコード、もしくは、URLからアクセスをお願いします
<https://forms.gle/CDDTxxQuiJuA1ZT19>



（上記で読み込めない方は、災害歯研(DPHD)のホームページ (<http://jsdphd.umin.jp/>) より別のリンクをクリックください